



CSR報告書 第4号

INDEX

トップメッセージ	1
CSR方針	2
CSRマネジメント	
コンプライアンス	3
内部統制	4
リスクマネジメント	4
環境活動報告	
環境改善	5
環境コンプライアンス	6
地域の環境改善	6
特集	7
社会活動	
労働安全衛生	8
教育振興	11

「常に変革を求め、 社会から必要とされる企業を目指します。」

当社が CSR 報告書の発行を始めて今年で4年目となります。ただし、CSR 活動自体で言えば、過去10年にまで遡ることができます。

そもそも CSR とは何かというと、日本語では「企業の社会的責任」と訳されています。組織が社会の一員として果たすべき役割と言う方が分かり易いかもしれません。

例えば、会社が儲かっているにもかかわらず、有害な排水を垂れ流すなど、法令や環境を無視した行為を行えば、社会的な評価は得られません。

つまり、個人と同様に組織体も人格を持ち、社会に対して立派な行動をとることが求められるのです。

当社ではこれまで CSR に関して様々な取り組みを行い、時には同業他社や取引先企業に先駆けた挑戦的な計画もありました。

その結果として、社員に対しては、残業時間の削減や、快適な労働環境の提供、福利厚生の実現を達成し、地球環境に対しては、関連法令への遵守はもちろん、継続的な環境改善活動によってゼロ・エミッションなど様々な課題を解決してきました。

また、地域社会に対しては、清掃活動やイベント参加などを通じた貢献活動を行ってきました。

CSR への取り組みは、会社の社会的な価値を高めると同時に、そこで働く社員に対する評価にも繋がると考えます。

NKC は、社員が誇りを持って働けるよう、常に変革を求め、社会にとって有用かつ必要とされる会社を目指します。

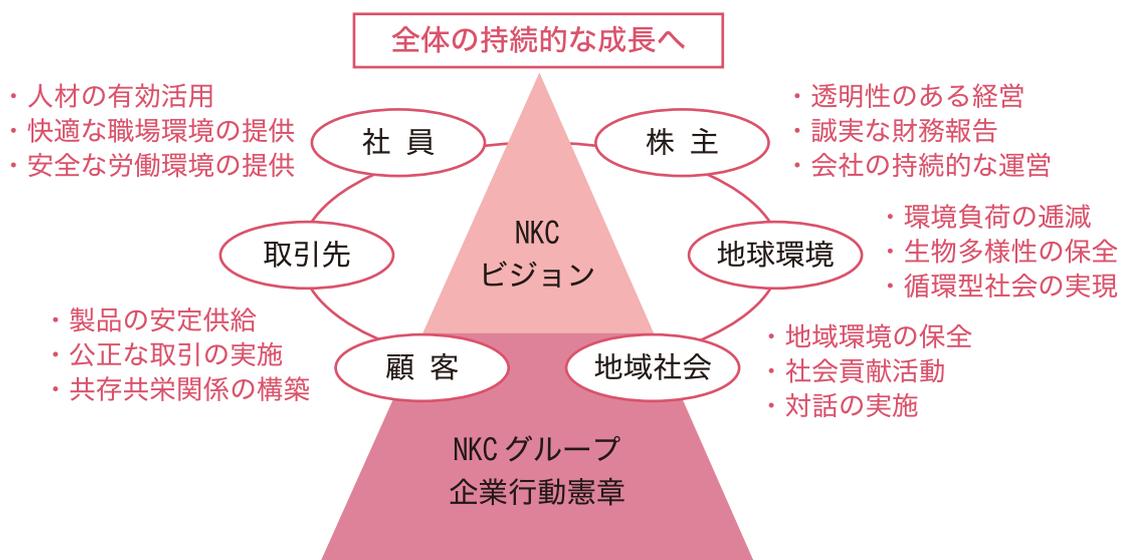


取締役社長 中西 竜雄

NKCのCSR方針

NKCでは、「NKCグループ企業行動憲章」および「NKCビジョン」を当社のCSR方針として位置付けています。

この方針に基づき、あらゆる利害関係者に対する社会的責任を果たし、社会全体の持続的な成長を実現するための取り組みを実践していきます。



CSR活動の仕組みと、各利害関係者に対するNKCの責任

NKCビジョン

NKCは、社員が社員である事に誇りを
持ち続け、常に変革する企業を目指す

- ・一人一人がそれぞれの個性と能力を最大限に発揮でき、成果が正しく評価され、自由で明るい職場を目指す
- ・顧客に満足されるサービスを提供し「CS No.1」の評価を得る企業を目指す
- ・精密部品・トータルエンジニアリングで、グローバルに展開し、社会に信頼される企業を目指す

※会社および社員が共有する基本的な価値観および目指す姿

NKCグループ 企業行動憲章

1. 基本的使命
2. 社会規範の遵守
3. 情報公開および情報の取扱い
4. 就業環境の整備
5. 環境対応
6. 社会貢献
7. 反社会勢力との対決
8. 海外での貢献
9. 企業倫理の徹底
10. 問題解決

※会社および社員が、日々の活動において遵守すべき基本的な行動指針



CSR マネジメント

誠実な事業活動と持続的な発展を支える仕組みづくり

コンプライアンス

[新入社員コンプライアンス研修]

NKCでは、毎年4月に新入社員を対象としたコンプライアンス研修を実施しています。

2012年度は、グループワーク形式で日常業務をテーマにした事例問題に取り組みました。

各自が様々な意見を出し合い解答を導くことで、法令だけでなく、社内規程などの基準やルール、倫理・道徳感など、コンプライアンスに対して幅広く理解を深めることが出来ました。



新入社員研修の様子

[コンプライアンス啓発記事の発行]

2011年度に引き続き、社内向け啓発記事「事例でまなぶコンプライアンス」を6件発行しました。最近の違反事例の傾向や法令改正などを踏まえ、過去に解説したことのある法令について、追加・補足での解説を中心に展開しました。

テーマ	関係法令
運送委託取引上の注意点	独占禁止法
商社との取引における注意点	下請法
発注書作成上の注意点	下請法
適正な情報管理	不正競争防止法
カルテル	独占禁止法
SMS利用上の注意点	個人情報保護法

[下請法遵守体制の強化]

・社内周知の徹底

NKCでは、従来からグループ全体での下請法遵守体制の強化を進めており、2012年度は、関係会社2社に対する下請法説明会を実施しました。説明会では、それぞれの取引形態に応じたポイント解説を行い、下請法の遵守はもちろん、下請業者に対する公正かつ公平な取引の徹底を呼びかけました。

・「下請取引適正化推進月間」連動活動の実施

NKCでは、経済産業省と中小企業庁による「下請取引適正化推進月間」(毎年11月)に合わせて、キャンペーンポスターの掲示や啓発記事の発行など、毎年様々な連動活動を実施しています。

2012年度は、社内での問合せ事例を基に、発注書面の作成や、商社を経由する取引における注意点についてポイント解説記事を発行しました。

[安全保障貿易管理体制の強化]

安全保障貿易管理とは、テロリストやテロ支援国家が武器を入手したり開発できないようにするための「外国為替および外国貿易法」の規制です。

年々複雑化する輸出取引への対応と、更なるコンプライアンス推進のため、安全保障貿易管理の強化対策として、次の5つに取り組みました。

- ①法令規制の再確認
- ②経産省説明会・研修会への定期的参加
- ③関係資料の備え置き・貸し出し
- ④関連部門へのメール配信
- ⑤掲示板での啓発活動

※「安全保障貿易管理」

この規制は、木材・食料品などを除くほとんどの物品および技術の輸出に適用されます。武器そのものだけでなく、民生品やその部品、材料などにも適用されるため、輸出を行うほとんどすべての企業にチェックの義務が課されることになっています。

また、物品の輸出以外にも、ソフトウェア取引、ライセンス、海外研修生の受入れ等にも同様の規制がかかっています。

内部統制

[BPR活動の推進]

NKCでは、内部統制の一環としてBPR活動を展開しています。

業務プロセスを可視化し、生産性の向上や、業務の属人化防止、ミスや不正の防止を図るために、業務フローの整備を推進しています。

また、年度計画として監査対象部門を選定し、各業務プロセスの有効性・効率性・適法性などのチェックも行っています。

2012年度は、営業部門を対象に、8部門に対して監査を実施しました。

※「BPR (BusinessProcessRe-engineering)」
企業目標(売上・収益向上など)を達成するために、業務内容や組織構造、ビジネスルールなどを見直して再設計すること。

リスクマネジメント

[BCPへの取り組み]

2011年に発生した東日本大震災での事例を教訓に、地震災害を想定したBCPの策定を進めています。

・天満地区「事業継続計画書」の完成

2012年12月に本社所在地である天満地区の「事業継続計画書」※が完成し、役職者向けの説明会を開催しました。

今後は、避難訓練の実施や啓発記事の発行などの活動を通して、一般従業員に対しても周知を実施していきます。



天満地区での説明会の様子

※「事業継続計画書」

有事および有事に備えた平常時の準備活動において基本となる行動計画書のこと。

・全社的な活動へ向けて

地震災害を想定する場合には、事業所単位 (=地区単位) でのBCP策定が必要となります。

NKCでは、グループ全社 (国内外) への展開を最終目標としています。

2012年度は、大阪工場および滋賀工場にてBCPの策定に着手しました。

・家庭向け防災記事の発行

BCP策定の推進と並行して、社内にて啓発記事を発行しています。

第1弾は、BCP以前に地震災害対策への導入編となるよう、「家庭でできる 防災対策」と題した家庭向けの啓発記事を全3回にて発行しました。

この家庭版では、地震の発生メカニズムなどの基本知識に始まり、発生直後の行動や備蓄品の準備についてなど、各自がすぐに取り組める事項について解説を行いました。



家庭向け防災記事

テーマ	概要
地震と津波の基礎知識	発生のメカニズムや、地震関連用語の区別について解説
地震発生時の対応	発生直後の対応について、屋内・屋外・海岸付近の3型で解説
地震への備え	家屋や家具の耐震対策、備蓄品、安否確認方法について解説



環境活動報告

地球環境の保全へ向けた、環境負荷低減活動

環境改善

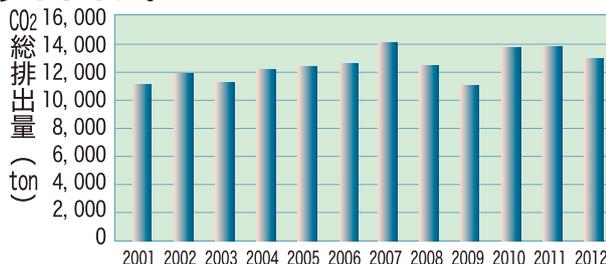
[地球温暖化防止活動]

各地区において次の活動を実施しました。
2012年度は、全社売り上げが前年度比7.5%減少したことによる生産効率の低下によって、原単位が若干悪化しました。

2012年度 地球温暖化防止活動

拠点	主な活動
天満地区	・水銀灯をLED照明に置換
大阪工場	・脱脂装置の熱源を蒸気に置換 ・プレスモーターを高効率モーターに置換 ・蛍光灯・水銀灯をLED照明に置換
名張工場	・空調設備をジェネリンクに置換 ・射出成型機を電動式射出成型機に置換 ・プレスモーターを高効率モーターに置換 ・コンプレッサー台数制御装置の導入 ・遮熱フィルムの導入
三重工場	・空調設備をガスヒートポンプに置換 ・高圧変圧器をアモルファス変圧器に置換 ・照明をLED照明に置換
滋賀工場	・照明をLED照明に置換
中西化工	・二重窓、緑のカーテン、簾を設置 ・射出成型機に断熱カバーを設置 ・照明をLED照明に置換

また、2001年度以降のCO₂総排出量の推移は次のグラフの通りです。2012年度のCO₂総排出量は13,085 tで、前年度と比較して6.8%減少しました。



[廃棄物削減活動]

各地区において次の活動を実施しました。
2012年度の廃棄物再資源化率は、過去最高の99.952%となりました。

2012年度 廃棄物削減活動

拠点	主な活動
天満地区	・材料歩留まりの向上
大阪工場	・排水処理場の汚泥を脱水 ・材料の有効利用
名張工場	・アルカリ脱脂装置から炭化水素脱脂装置に更新し、廃アルカリを全廃
三重工場	・廃ゴムの削減 ・芯金の有効利用
滋賀工場	・分別の強化
中西化工	・部品納入段ボール箱の再使用

また、1998年度以降の廃棄物再資源化率の推移は次の表およびグラフの通りです。

廃棄物再資源化率の推移

年度	1998	1999	2000	2001	2002
再資源化率 (%)	91.267	87.900	85.067	88.783	92.656
年度	2003	2004	2005	2006	2007
再資源化率 (%)	97.648	98.918	99.507	99.832	99.890
年度	2008	2009	2010	2011	2012
再資源化率 (%)	99.925	99.922	99.928	99.942	99.952

廃棄物再資源化率の推移



環境コンプライアンス

[下水道法の遵守]

排水の水質測定の結果、全地区において規定の基準値を下回りました。

水質基準値

拠点	要求項目・基準値						
	水素イオン濃度 (mol/L)	生物化学的酸素要求量 (mg/L)	浮遊物質 (mg/L)	溶解性鉄含有量 (mg/L)	ノルマルヘキサン (mg/L)	窒素含有量 (mg/L)	炭含有量 (mg/L)
天満地区		600	600	10	なし	なし	なし
大阪工場		300	300	なし	5	150	20
三重工場		120	600	10	5	なし	なし

※名張工場・滋賀工場・中西化工の生活排水は規制対象外

[騒音・振動規制法]

騒音・振動測定の結果、全地区において規定の基準値を満足しました。

用途地域別 騒音・振動基準値

拠点	用途地域	基準値 (dB)				
		騒音			振動	
		昼間	朝夕	夜間	昼間	夜間
天満地区	準工業地域	65	60	55	65	60
大阪工場	準工業地域	65	60	55	65	60
名張工場	指定なし	60	55	50	65	60
三重工場	準工業地域	65	60	55	65	60
滋賀工場	工業地域	70	65	60	70	65
中西化工	準工業地域 (工場)	65	60	55	65	60
	第一種住居地域 (部品倉庫)	55	50	45	60	55

地域の環境改善活動

NKCでは、各地区の周辺地域の環境改善を目的に、次の活動に取り組んでいます。

2012年度 地域に対する環境貢献活動

拠点	地域貢献活動	活動内容
全社	チャレンジ25キャンペーン	クールビズ・ウォームビズ (冷房温度は28℃以上、暖房温度は20℃以下)
天満地区 大阪工場 中西化工	おおさか交通エコチャレンジ	・エコカー使用の推進 ・エコドライブの推進 ・公共交通機関利用の推進
天満地区	クリーンおおさか	天満地区周辺の清掃
大阪工場	地域が育む道路美化	大阪工場から宇谷小学校までの市道の清掃
名張工場	自主清掃	名張工場周辺の清掃
三重工場	自主清掃	三重工場周辺の清掃
滋賀工場	自主清掃	滋賀工場周辺の清掃
中西化工	アドプトロードプログラム	中西化工正門前の府道の清掃

特 集

【ごみ減量優良建築物表彰】

天満地区では、事業系廃棄物の減量に積極的に取り組んでいます。

2012年度は、過去5年連続で優良な成績を上げたことが評価され、大阪市から「ごみ減量優良建築物標章」および「環境局長感謝状」を贈呈されました。

大阪市内には対象となる延床面積1,000平米以上の建築物が4,381件ありますが、受賞したのは0.94%に当たる41件でした。

NKCでは、今後も成果を上げ続けるよう、3R活動※を展開し、事業系廃棄物の減量に取り組みます。

※ 3R活動

- ① Reduce (リデュース) : 廃棄物の発生を抑制
- ② Reuse (リユース) : 廃棄物の形を変えずに再使用
- ③ Recycle (リサイクル) : 廃棄物の形を変えて再生利用



ごみ減量有料建築物標章



大阪市環境局長 感謝状

【一般廃棄物の無料収集】

天満地区では、個人ゴミ箱の廃止および、使用済みティッシュペーパー以外の紙類の全量リサイクルによって、一般廃棄物を平均100kg/月に減量しています。

大阪市は事業系一般廃棄物であっても直営の戸別方式で収集しており、事業者の1日平均排出量が10kg未満で週2回の収集であれば、一般家庭と同様に無料収集となります。

2013年度から週2回の無料収集に変更することについて、2013年2月27日に北部環境事業センターと合意しました。

同センターが管轄する北区および都島区域内では、事業者として初の適用となります。

契約の変更

契約期間	2013年3月31日まで	2013年4月1日から
収集頻度	毎日	週2回
契約量	平均240kg/月	平均10kg未満/日
処理手数料	77,760円/年	無料

大阪市 一般廃棄物処理手数料

収集頻度	毎日	週2回	週2回
1日平均排出量	10kg以上	10kg以上	10kg未満
処理手数料/月	270円/10kg	240円/10kg	無料

NKCで発生する産業廃棄物は、全量がリサイクルされています。

今後も廃棄物再資源化率の向上を目指し、一般廃棄物の減量に努めていきます。



社会活動報告

各ステークホルダーへ向けた社会貢献活動

社員へ向けて

労働安全衛生

[労働安全衛生マネジメントシステムの推進]

労働安全衛生マネジメントシステムとは、事業場の安全衛生水準の向上を目的として、事業者が労働者の協力の下にPDCAのサイクルで継続的な活動を実施する仕組みのことを言います。

NKCでは、この仕組みに基づく安全衛生活動の定着を目指しています。

2012年度は、各地区の安全衛生委員会・部会における日頃からの活用を心がけ、総合安全衛生環境管理委員会において活動の定着を確認しました。

[資格取得の推進]

NKCでは、作業者の資格取得を推進しています。2012年度は、取扱指名者認定制度に基づき、取扱指名者と取扱指名者でない有資格者との有資格作業の区分の明確化を徹底しました。

[データベースの活用]

作業者の資格取得情報や安全教育の履歴、労災・火災・交通事故等の履歴を一括で管理出来るデータベースを整備しました。

これにより、各情報の効率的な参照が可能となり、資格者の免許データなど、管理できる情報量も増加しました。

今後は、計画的な資格取得および安全教育の実施、労働災害の防止・撲滅活動における有効的なツールとして活用を促進します。

[安全教育の推進]

2012年度は、次の項目を"重点7作業"と定めて、取扱指名者に安全教育を実施しました。この"重点7作業"については、NKCルールにより、年に1度安全教育を受講しなければ該当作業に従事出来ないことと定められています。

—2012年度 重点7作業—

- ・プレス機械作業
- ・フォークリフト運転作業
- ・クレーン運転作業
- ・玉掛け作業
- ・溶接作業
- ・研削砥石取替え作業
- ・産業用ロボットの操作作業



溶接作業安全教育 (天満地区)



クレーン運転安全教育 (滋賀工場)



フォークリフト運転安全教育 (中西化工)



プレス機械作業安全教育 (大阪工場)

[リスクアセスメント活動]

リスクアセスメントとは、職場の潜在的な危険有害要因を把握し、リスクに応じた対策を講じることで、これを除去・低減することを行います。

2012年度は、2011年度に引き続き、作業手順に基づくリスクアセスメントを重点的に行いました。

各職場で3か月に1テーマの実践を目標に掲げ、作業手順を見直しながら、危険性または有害性の特定およびリスクの見積り・評価を実施し、必要な対策をフィードバックする手法を取り入れました。

[KY活動]

潜在的なリスクを発見する手法として、リスクアセスメントの発掘型に対して、KY(危険予知)活動は発見型といわれ、作業者が日常的に目についた危険を報告し、改善に結びつける活動の事を言います。

NKCでは、作業員から提出されるKY報告に対して、気づき・危険度を基準に総合委員会事務局が採点し、総合点数の高い地区に対する表彰を年に1度行っています。

2012年度の全提出件数は合計185件、内7点以上(10点満点中)が31件ありました。

2012年度 KY抽出状況

拠点	全提出件数		労働者数 ②	総合点 ①÷②
天満地区	32	3	211	0.01
大阪工場	46	13	335	0.04
名張工場	28	5	400	0.01
三重工場	25	4	234	0.02
滋賀工場	45	5	189	0.03
中西化工	9	1	110	0.01

※大阪工場が最高得点(0.04)を獲得し、KY表彰を受賞。

また、各地区の安全部会・KY部会によるKYトレーニングも実施しました。



天満地区



三重工場

[防災活動]

NKCでは、火災等の災害に対する防災活動を行っています。

2012年度は、「火災・小火ゼロ」を目標に、各地区において次の防災活動を実施しました。

—2012年度 防災活動—

- ・防災パトロールの実施
 - ・危険物管理状況の点検
 - ・消防設備の点検・整備
 - ・火災連絡網、避難経路・場所の確認
 - ・消防訓練(通報・避難・消火)の実施
 - ・換気扇の清掃、絶縁抵抗の測定
 - ・蛸足配線の改善
 - ・喫煙場所の点検
- など



消防訓練(名張工場)



夜間避難訓練(三重工場)

[交通安全活動]

「交通事故ゼロ」を目標に、次の活動を実施しました。

—2012年度 交通安全運動—

- ・交通安全講習会の開催
 - ・駐車場・駐輪場の整備
 - ・構内走行速度制限の啓蒙
 - ・シートベルト・ヘルメット着用チェック
 - ・タイヤの摩耗チェック
 - ・優良運転者の表彰
- など

[環境衛生活動]

社内の衛生環境向上のため、次の活動を実施しました。

－2012年度 環境衛生活動－

- ・健康診断の実施
- ・環境衛生パトロールの実施
- ・騒音・振動・照度測定
- ・メンタルヘルス対策の啓蒙
- ・水質検査(飲料水)
- ・熱中症予防対策
- ・全体換気装置・局所排気装置の点検
- ・救急用具の点検 など

[5S活動]

職場における5S(整理・整頓・清掃・清潔・躰)徹底のため、次の活動を実施しました。

－2012年度 5S活動－

- ・5S責任者の明確化
- ・5Sパトロールの実施
- ・定期的な不要品処分・廃却申請の実施
- ・箱の積み方の点検・指導
- ・掲示物の整理
- ・材料・仕掛品の5S実施 など

[快適職場づくり]

労働安全衛生法の規定に基づく快適職場指針により、事業者は、快適な職場環境を形成するために必要な対策を講じることが義務付けられています。

NKCでは、「仕事による疲労やストレスを感じることの少ない働きやすい職場づくり」を目指し、次の改善活動を実施しました。

－2012年度 快適職場作り活動－

- ・食堂・手洗い場・トイレ・休憩室の整備
- ・喫煙室の設置、排気ダクトの増設
- ・明かり窓の設置
- ・重量物移載装置の設置
- ・駐車場の整備
- ・床面・路面の改修 など



分煙化、喫煙室の設置
(大阪工場)



手洗い場を改修 (名張工場)

[無災害表彰]

2012年度の労働災害件数は、次の表の通りです。不能災害1件(前年比±0件)、休業災害1件(前年比±0件)、不休災害3件(前年比-3件)、微傷災害4件(前年比+1件)で合計9件(前年比-2件)となりました。

三重工場、滋賀工場が無災害表彰を受賞しました。

2012年度 労働災害件数

拠点	2012年度 発生件数					前年度比				
	不能	休業	不休	微傷	合計	不能	休業	不休	微傷	合計
天満地区			2	1	3	-1		+1	+1	+1
大阪工場		1		2	3		+1	-2	+2	+1
名張工場	1				1	+1		-1	-1	-1
三重工場				1	1		-1		-1	-2
滋賀工場					0			-2		-2
中西化工			1		1			+1		+1
合計	1	1	3	4	9	0	0	-3	+1	-2

地域社会へ向けて

教育振興

【育英奨学事業】

財団法人中西奨学会は、2012年4月1日付にて一般財団法人へ移行しました。

これにより法令の規制が緩和され、従来より主体的な組織運営や柔軟な事業活動の展開が可能になりました。

そこで、続く7月に中西金属工業株式会社と業務委託契約を締結し、今後の事業展開を組織立って実施できる体制を整備しました。

・採用・支給実績

2011年度に引き続き、東日本大震災による被災学生を対象とした特別採用枠を設けました。

これによる2012年度の新規採用および総支給額の実績は次の通りです。

2012年度 新規採用数

課程	通常枠	被災学生特別枠
高等学校	10名	
高等専門学校	8名	
大学	21名	4名
大学院	8名	1名
合計	52名	

2012年度 奨学金支給額（過年度生+新規生）

課程	支給人数	支給額	【参考】月額/人
高等学校	20名	2,400千円	10千円
高等専門学校	24名	3,744千円	13千円
大学	53名	17,172千円	27千円
大学院	17名	6,732千円	33千円
合計	114名	30,048千円	

・奨学生対象懇親会の開催

奨学会事務局担当者と奨学生との交流の場として、大学および大学院奨学生対象の懇親会を開催しました。

懇親会は、前半と後半の2部制とし、前半は奨学会およびNKCの企業説明会を行い、後半はNKC役員も出席してのパーティとなりました。

このように奨学生との交流の場を設けることは、昭和46年の財団設立以来初であり、今後は高等学校および高等専門学校奨学生を対象とした活動も実施していくこととしています。



第一部の説明会の様子



第二部のパーティの様子

NKC 中西金属工業株式会社

CSR報告書 第4号

発行：2013年10月

発行部署：CSR室

問合せ先：06-6351-4832

